

【資料6】令和2年度保護林モニタリング調査について

保護林名	区分	A	B	C	D 森林概況			E	F	G	H	I-1	I-2	I-3	J	K	L	M	N	O	P	Q	その他		合計 項目数	プロ ット 数	県 名	実 施 年 度	前 回 調 査
		資 料 調 査	リ モ ー ト	資 料 調 査	樹 木	植 生	鳥 獣 害	森 林 詳 細	資 料 調 査	森 林 詳 細	資 料 調 査	哺 乳 類	鳥 類	そ の 他	資 料 調 査	リ モ ー ト	資 料 調 査	森 林 詳 細	資 料 調 査	聞 き 取 り	資 料 調 査	森 林 詳 細	U A V	設 置 所 内 シ ン カ リ ア の 選 定					
アヤ 綾	森林生態系保護地域	●		●			●	●	●	●	●	●	●	● (昆虫類)			●	●	●	●			●	●	16	18 (3)	宮崎	28	
タカクヤマ 高陽山	生物群集保護林			●			●	●	●	●	●	●	●	● (昆虫類)			●	●		●			●		13	17 (3)	鹿児島	27	
ヒコサン 英彦山・鶯モミ等	希少個体群保護林			●			●	●	●	●							●	●		●	●			9	2 (2)	福岡	27		
オオネ 大根地アカガシ等							●										●			●	●	●		5	2	福岡	22		
ジョウヤマ 城山タブノキ等							●										●			●	●	●		5	4	福岡	22、25		
ウキダケ 浮岳アカガシ遺伝資源							●										●			●	●	●		5	3	佐賀	22		
ヤマズミ 山磁スダジイ等							●										●			●	●	●		5	2	佐賀	22		
フレギンダ				●			●	●	●	●							●	●		●	●	●		10	2 (2)	熊本	28		
クギノ 久木野アカガシ等遺伝資源				●			●	●	●	●							●	●		●	●	●	●	12	3 (3)	熊本	22		
オオコ 大河平モミ等遺伝資源				●			●	●	●	●							●	●		●	●	●	●	11	3	熊本	22		
ゴンゲンダケ 権現岳シオジ等遺伝資源				●			●	●	●	●							●	●		●	●	●	●	12	3	大分	22		
ゴウ 坊ガゾルサワグルミ等遺伝資源				●			●	●	●	●							●	●		●	●	●	●	11	2	大分	22		
クロダケ 黒岳ミズメ等遺伝資源				●			●	●	●	●							●	●		●	●	●	●	11	2 (1)	大分	22		
カミノ 神野イスノキ遺伝資源				●			●	●	●	●		●	●				●	●		●	●	●	●	13	3	鹿児島	23		
ヤマゾエ 山添タブノキ等遺伝資源				●			●	●	●	●		●	●				●	●		●	●	●	●	13	3	鹿児島	23		

※ () 内は森林生態系基礎調査実施プロット数

調査項目	手法区分	詳細内容
森林タイプの分布等状況調査	資料調査	A 最新の森林調査簿、国有林野施業実施計画図等を利用し、保護林情報図(森林タイプごとの面積・分布)を整理する。
樹種分布状況調査	リモートセンシング	B 調査時点における最新の空中写真等を取得・整理する。
樹木の生育状況調査	資料調査	C 既存資料(森林生態系多様性基礎調査、モニタリングサイト1000等)を活用し、樹木の生育状況を整理する。
	森林概況調査 森林詳細調査	D チェックシート(樹木の生育状況調査票)及び全天球写真を利用し、樹木の生育状況を観察する。 E プロット内の樹木の樹種、胸高直径、樹高を計測及び全天球写真を利用して樹木の生育状況を定点観察する。
下層植生の生育状況調査	資料調査	F 既存資料(森林生態系多様性基礎調査、モニタリングサイト1000等)を活用し、下層植生の生育状況を整理する。
	森林概況調査 森林詳細調査	D 調査票及び全天球写真を利用し、下層植生の生育状況を観察する。 G 同一時期にプロット内に出現する全ての種を記録及び全天球写真を利用し、下層植生の生育状況を定点観察する。
	資料調査	H 既存資料(森林生態系多様性基礎調査、モニタリングサイト1000等)を活用し、野生動物の生息状況を整理する。
野生動物の生息状況調査	動物調査(哺乳類)	I-1 自動撮影カメラ等を利用し、同一時期の一定期間内における野生動物の生息状況を記録する。
	動物調査(鳥類)	I-2 スポットセンサス法による鳥類の生息状況の把握
	動物調査(その他)	I-3 対象生物相に応じて実施する調査
	資料調査	J 災害履歴情報等(災害復旧、防災関連事業)を利用し、災害種類や件数、面積、分布等を整理する。
山火事・山腹崩壊・地すべり・噴火等の災害発生状況調査	リモートセンシング	K 保護林区画を明示した空中写真を(立体視)判読して、災害発生箇所(山腹崩壊等)を確認する。
	資料調査	L 既存資料等を利用し、病虫害・鳥獣害・気象害による被害状況を調査する。
病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査	森林概況調査 森林詳細調査	D 調査票やチェックシート等を利用し、病虫害・鳥獣害・気象害による被害状況を観察する。 M プロット内の樹木の病虫害・鳥獣害・気象害による被害状況を定量的に調査する。
	論文等の発表状況調査	N インターネット等を利用し、学術論文や、森林環境教育のイベント情報等を整理する。
外来種駆除等実施状況調査	聞き取り調査	O 業務資料や担当官への聞き取り調査により、保護林または緑の回廊の管理体制、事業・取り組み実績を確認する。
保護対象樹種・植物群落・動物種の生育・生息状況調査	資料調査	P 既存資料(森林生態系多様性基礎調査、モニタリングサイト1000等)を活用し、対象個体群の生育状況・生息数、生息密度を調査する。
	森林詳細調査(樹木)	Q プロット内の対象樹種を計測(胸高直径・樹高・被害状況等)し、全天球写真を利用してプロット内の状況を定点観察する。
	森林詳細調査(植物群落)	Q プロット内の対象樹種を計測(出現種数等)し、全天球写真を利用してプロット内の状況を定点観察する。
	動物調査(哺乳類)	I-1 自動撮影カメラ等を利用し、同一時期の一定期間内における野生動物の生息状況を記録する。
	動物調査(鳥類)	I-2 スポットセンサス法を利用し、対象個体群が活発に活動する時期・時間帯における出現数を記録する。
動物調査(その他)	I-3 対象生物相に応じて実施する調査	